

# 平成26年度 事業報告

社会福祉法人 岡谷市社会福祉協議会

## I 岡谷市社会福祉協議会事業推進組織・役職員体制

### (1) 役員

理事会	事業推進執行機関	会長1名・副会長3名・常務理事1名・理事11名
監事	事業・会計監査	学識経験者1名・税理士1名
評議員会	議決機関	地域・各種団体代表等34名

### (2) 職員

事務局長兼常務理事	1名	まゆみ園園長・居宅介護支援事業所長・訪問介護事業所長
事務局	8名	正規5名・嘱託3名
居宅介護支援事業所	7名	ケアマネージャー(正規3名・嘱託3名・パート1名)
訪問介護事業所	25名	ホームヘルパー(正規5名・パート20名)
まゆみ園	2名	保育士(正規1名・臨時1名)
おかや総合福祉センター	8名	館長(嘱託1名)・事務員兼業務員(嘱託3名・臨時4名)
生きがいづくりデイサービス	6名	援助員(嘱託1名・臨時5名)
結婚相談所	2名	結婚相談員(臨時2名)
日常生活自立支援事業	6名	生活支援員(臨時6名)
合計	65名	

## II 主たる事業・会議等の開催

月	日	説明	月	日	説明
4月	1日	まゆみ園始業	7月	5日	社協会費収納開始(7/1~8/30)
	8日	定例正副会長会(月1回)		9日	手話奉仕員フォローアップ講座(全10回)
	23日	家庭介護者の集い		12日	サマーチャレんじ2013(~8/31)
	24日	ブロック社協局長・次長会議		14日	手話通訳者フォローアップ講座(全5回)
	30日	地区社協役員研修会		24日	ブロック社協局長・次長会議
5月	8日	正副会長会		26日	正副会長会
	10日	こども福祉教室開講式(全10回)			ハートリーフ
	13日	手話奉仕員養成講座(全42回)	8月	2日	岡谷市社会福祉大会(カノラホール)
	15日	監査会		6日	生きがいデイサービス
	19日	正副会長会		7日	ボランティアリーダー養成研修(全6回)
	27日	理事会・評議員会		14日	ふれあいおどり連
30日	社会福祉推進校連絡会議	19日		正副会長会	
6月	11日	正副会長会		21日	被災地社協職員派遣(山田町)~25日
	17日	ブロック社協総会	28日	県身体障害者福祉大会	
	18日	おかや総合福祉センター防災訓練	9月	4日	声の広報デイジー化基礎講座(全5回)
	24日	理事会		10日	長野県社会福祉大会(茅野市)
	26日	共同募金運営委員会		11日	親どうしのお見合いイベント
		岡谷市障害者福祉推進実行委員会総会		17日	正副会長会
	会費収納説明会	25日		育児ファミリーサポートセンター研修会(全6回)	
		29日		共同募金説明会	

10月	4日	共同募金運動開始(10/1~12/31) ふれあいの集い(ぶどう狩り)	12月	11日	正副会長会
	11日	ふれあい祭り&ボランティア祭り		17日	まゆみ園クリスマス会
	14日	正副会長会	1月	14日	正副会長会
23日	ブロック社協役員研修会	17日		防災とボランティアパーク(炊出し)	
	25日	福祉バザー	2月	17日	ブロック社協局長・次長会議
28日	障害者IT講習会(全8回)	20日		正副会長会	
11月	1日	ブロックボランティア交流研究集会	2月	26日	家庭介護者の集い
	13・14日	新潟県柏崎市視察研修		3月	5日
	18日	正副会長会	17日		正副会長会
	19日	おかや総合福祉センター防災訓練	23日		まゆみ園卒園式・修了式
	21日	被災地社協職員派遣(山田町)~27日	26日	理事会・評議員会	

### III 事業の実施報告

第2次地域福祉活動計画に基づき事業を推進してまいりました。計画に掲げた4つの基本目標に沿って事業実施の報告をいたします。

#### 基本目標1 地域福祉活動の輪を広げる

##### (1) 福祉意識の普及

様々な事業を通じ、また各種媒体を活用し、市内全体に福祉意識を広げた。

##### ① 岡谷市社会福祉大会の開催 8月2日(土) カノラホール大ホール

総合テーマ	みんなで築く、みんなの福祉、みんなの未来(あした)		
内容	講演	「～心も軽く、暮らしも軽く～ 老前整理」	
	講師	坂岡 洋子氏 老前整理コンサルタント	
表彰	市社協会長表彰	社会福祉事業特別功労者	6個人
		社会福祉事業協助者	1団体
		褒賞	4個人・1団体
		感謝状	6個人・4団体
	共同募金会岡谷市支会会長表彰		
		感謝状	11団体
		東日本大震災義援金感謝状	1団体・1法人

地域福祉の担い手であり、主役である住民の皆さんが、地域でいきいきと暮らし、活躍されることを願うとともに、福祉に対する意識の高揚を図り、約600名の参加をいただき開催した。

##### ② 長野県社会福祉大会への参加 9月10日(水) 茅野市民館

内容	住民支え合い活動実践報告		
	小尾 定良氏	茅野市上古田区「ひまわりの会」	
講演	「～辛さにも恵まれ、幸せにも恵まれる～」		
	講師	金澤 泰子氏	
	揮毫	金澤 翔子氏	

##### ③ 社協だより「ゆめ」の発行 年12回・全戸配布 事業、活動、福祉情報、ボランティア情報等掲載

##### ④ 地区社協だよりの発行 14地区 地域住民に地区社協活動を周知、理解協力及び福祉活動への参加促進を図った。

##### ⑤ 新聞等報道機関の協力

##### ⑥ 福祉教材の貸出 学校に各教材を貸出し、福祉体験に活用していただいた。

高齢者疑似体験セット	川岸小学校・東部中学校・岡谷工業高校
点字器	川岸小学校・湊小学校・神明小学校・小井川小学校・長地小学校
車いす	小井川小学校・川岸小学校・岡谷東高校
アイマスク	川岸小学校・湊小学校・長地小学校

- ⑦ 各種体験学習会、福祉学習会の開催  
 学校、保育園に講師として出向き、車いす・アイマスク・手話・点字・高齢者疑似体験学習会を行った。  
 また地域のゲストティーチャーとして、視覚・聴覚障がい者や点字・手話サークルの皆さんに協力をお願いし、指導していただいた。  
 小井川小学校、湊小学校、長地小学校、田中小学校、川岸小学校、岡谷東高校、西堀保育園
- ⑧ こども福祉教室の開催 9回シリーズ 参加者24名  
 こどもに様々な学習、体験を通じて、小さな頃から福祉に関心をもってもらうことを目的に開催。新しい内容をボランティアスタッフと共に企画し、複数年参加しても学べるように工夫している。  
 今年度は、障がい者スポーツ体験や介助犬について学び、普段なかなか接する機会が少ない貴重な体験を通じて、こどもたちが大きく成長した姿を見ることができた。
- ⑨ 社会福祉推進校事業の推進  
 小中高15校（全校）を社会福祉推進校に指定し、活動への助言指導とともに、活動助成を行い、活動財源として有効に活用していただいた。
- ⑩ ボランティア活動体験事業 サマーチャレンジ2014  
 7月から8月の間に市内の各会場で、学生から社会人まで多くの方がボランティア体験をしていく中で、ボランティアの正しい理解と関心をさらに深め、今後の活動へのステップとすることを目的に開催。

実施期間	平成26年 7月22日(火)～ 8月31日(日)
参加者	中学生63名・高校生21名・大学生7名 (合計 91名)
実施施設	保育園(16) 高齢者施設等(4) 子育て支援館(1)

- ⑪ 親子福祉体験事業（こども福祉教室内で2回実施）  
 手話体験と介助犬について学ぶ講座を企画。手話体験では、あいさつや家族、色など、身近な言葉を知ることができ、聴覚障がい者への理解を深めることができた。介助犬では、体の不自由な方のお手伝いをする介助犬の存在を知ることができた。親子で体験したことを通じて、福祉について共通の話題として話せるきっかけづくりができた。

## (2) ボランティア活動への支援

ボランティア登録者数	総 数	7,236名
内 訳	全市のボランティアグループ	60グループ 5,590名
	企業ボランティアグループ	4グループ 593名
	地区社協ボランティアグループ	23グループ 1,016名
	個人ボランティア	37名

- ① ボランティア連絡協議会との連携強化 加入 団体24・個人18名  
 ボランティア同士のつながりを更に深めることができ、ふれあい祭りや様々な活動につなげることができた。  
 また、社協行事にも積極的に協力していただき、本当にありがたく感謝している。今後も更なる連携強化をしていきたい。
- ② 企業ボランティア活動振興事業  
 施設等からのニーズに対し個々の対応をすることが出来た。今後、全体への定期的な情報発信方法について検討していきたい。
- ③ ボランティアコーディネート機能の充実・強化  
 市内外施設へのボランティア紹介  
 ボランティア希望者への情報提供  
 同行訪問によるボランティアの紹介、対応  
 ボランティアセンター管理、整備  
 利用状況：21団体・個人 355回 2,202人
- ④ ボランティア等に対し地域福祉活動振興補助事業  
 ボランティアの研修や活動に助成を行い、活動を支援した。
- ⑤ ボランティア登録、斡旋、相談事業の充実

- ⑥ ボランティア保険の普及、加入  
加入者総数 2,012名

保険内容	加入者数
Bプラン(社協補助あり)	1,480
Aプラン(全額負担)	381
Aプラン(サマーチャレンジ参加者分)	91
天災Aプラン(全額負担)	50
天災Aプラン《災害ボランティア》(社協負担)	10

- ⑦ ボランティア総合相談  
ボランティアに関する総合窓口として相談に応じ、活動しやすい環境づくりに努めた。
- ⑧ ボランティア及び災害活動者遺児育英資金 9,473,474円
- ⑨ 手話奉仕員養成講座(諏訪6市町村) 41回シリーズ 修了者17名  
今年度より、諏訪6市町村の方対象として開催。  
この講座修了者の中から、通訳者を目指す方もおり、聴覚障害者への理解に成果が見られた。
- ⑩ 手話奉仕員フォローアップ講座の開催 15回シリーズ 参加者18名  
奉仕員養成講座修了者以上の方のレベルアップを図ることを目的に開催。県主催の通訳者養成講座へつなげている。
- ⑪ 要約筆記奉仕員ステップアップ研修会 12月4日 参加者 6名  
PC要約筆記者を対象に、利用者の多様な要望に対応できるように、情報保障の知識、ひとり入力の要約方法の習得を目的に開催。
- ⑫ 声の広報デイジー化基礎講座の開催 5回シリーズ 参加者20名
- ⑬ ボランティア祭りの開催  
ふれあい祭りと同様開催し、多くのボランティアにご協力いただき、盛大に開催することができた。  
新たに参加いただく団体も増え、ゲーム等も新しいことを取り入れた。  
年々来場者も増え、定着した行事となってきている。

### (3) 地区社協への支援

- ① 地区社会福祉協議会の充実と活動の推進
- ② 地区福祉ニーズ対応事業(福祉推進員設置事業) 325名  
今井23名・間下22名・岡谷20名・下浜12名・小尾口6名・上浜18名・新屋敷9名・小口18名・小井川28名・西堀16名・小坂8名・花岡16名・三沢31名・新倉12名・駒沢5名・鮎沢5名・橋原6名・東堀30名・中屋18名・中村5名・横川17名
- ③ 地区地域福祉推進会議  
各地区社会福祉協議会で開催 52回
- ④ 地区社協役員研修会の開催 4月30日  
各地区社協役員対象に、地域福祉についての研修会を開催  
地域福祉活動振興補助事業の説明
- ⑤ 地区社協だよりの発行(再掲)
- ⑥ 地域福祉活動振興補助事業  
地区社協で行う各事業に補助を行い、地域福祉活動の振興を図った。

### (4) 社会参加への支援

- ① 地区主催「敬老事業」への助成 650万円
- ② 岡谷市高齢者クラブ連合会への支援
- ③ 高齢者の社会参加促進事業  
「健康・友愛・奉仕」を基本精神とした各種活動への支援。

④ 障害者地域生活支援事業等（市受託事業）

ア 手話通訳者設置

病院・行事等での通訳	14回	学校・保育園での学習会講師	8回
窓口での相談等	36回	長地小・川岸小・田中小・湊小・西堀保育園	
たちばな幼稚園手話教室講師	12回		

イ 手話通訳者・要約筆記者派遣事業

手話通訳者派遣	16件 46.5時間(講演会・病院・学校等)	登録者数	22名
要約筆記者派遣	6件 23.5時間(講演会等)	登録者数	22名

ウ 障害者IT講習事業 レターセット・年賀状作成  
各4回シリーズ 参加者 11名

エ 声の広報発行事業 12回発行 12世帯利用

オ 生活訓練事業

カ 芸術・文化講座開催事業

キ スポーツ教室開催事業

ク スポーツ大会開催等

ケ 福祉機器リサイクル事業 車いす・ポータブルトイレ・ベッド 受付3件 成立1件  
その他、福祉機器(ポータブルトイレ・シャワーチェア等)を居宅介護、訪問介護利用者を対象に、随時貸与等を行った。

⑤ 岡谷市障害者福祉推進実行委員会による障害者福祉推進  
福祉バザー、ふれあいの集い、ふれあい祭り、おどり連の太鼓祭り参加、生活訓練、芸術文化講座、スポーツ教室、スポーツ大会等

(5) 福祉施設運営サービスの充実

① おかや総合福祉センター管理経営事業（岡谷市指定管理事業）

開館日数	温泉施設	308日	月平均	25.67日	
	生涯学習施設	347日	月平均	28.92日	
開館時間	温泉施設	10時～21時30分			
	生涯学習施設	9時～21時30分			
休館日	温泉施設	毎週水曜日			
	生涯学習施設	毎月第3水曜日			
入館者数	有料入館者	温泉施設	138,552名		
	無料入館者	大浴場	123,345名	リハビリ施設	12,635名
		福祉家族風呂	1,079件	2,572名	
	無料入館者	生涯学習施設	7,235団体		
		大浴場	19,400名		
		生涯学習施設	1,747団体		
		足湯	60,330名		
	ロビー・ヘルストロン等	105,316名			

こどもから高齢者まで、誰もが集い、憩い、交流することができるコミュニティスペースを目指した。大浴場、福祉風呂、温泉リハビリ施設の衛生管理に注力するとともに、生涯学習施設として研修室の増加を図った。

また、今年度「健康増進イベントに対する入浴サポート」「温泉リハビリ友の会」をスタートさせ、11月27日には、温泉施設利用者150万人を達成し、年間の温泉施設利用者も増えている。

② 岡谷市通園訓練施設「まゆみ園」の管理経営事業（岡谷市指定管理事業）

開設日	週5日(月～金)	9:00～15:00
始業日	平成26年4月7日(月)	
卒園式	平成27年3月23日(月)	
保育日数	229日	
保育園訪問	2日	
年間在籍園児実数	14名	
延利用者数	1,251名	
26年度卒園児	10名(保育園7名・在宅3名)	

園児、母親への支援を行った。必要に応じ、懇談を随時行い対応した。

医療につながっていない園児が多く、母親との懇談を通じ、医療、療育へつなげるよう努めた。

## (6) 福祉活動の基盤整備

### ① 地域サポートセンター設置促進体制整備事業

#### ア 設置状況

西堀区	西堀区地域サポートセンター	平成14年度
東堀区	東堀区地域福祉支援センター	平成15年度
駒沢区	駒沢区地域福祉支援センター	平成16年度
小井川区	小井川区地域サポートセンター	平成16年度
三沢区	三沢区地域サポートセンター	平成18年度
今井区	今井区地域支援センター	平成18年度
花岡区	花岡区地域サポートセンター	平成18年度
岡谷区	岡谷区地域サポートセンター	平成19年度
間下区	間下区地域福祉活動支援センター	平成19年度
小尾口区	小尾口区地域サポートセンター	平成20年度
新屋敷区	新屋敷区地域サポートセンター	平成21年度
下浜区	下浜区地域サポートセンター	平成23年度
鮎沢区	鮎沢区地域サポートセンター	平成23年度
中村区	中村区地域サポートセンター	平成24年度
新倉区	新倉区地域サポートセンター	平成24年度
橋原区	橋原区地域サポートセンター	平成24年度
横川区	横川区地域サポートセンター	平成25年度
中屋区	ふれあい中屋活動センター	平成26年度
小坂区	小坂区サポートセンター	平成26年度

設置地区全地区を訪問し、活動状況の把握を行うとともに、未設置地区への個別対応により、2地区で新たに設置され、設置地区は19地区となった。

### ② 各種団体への助成

## 基本目標 2 福祉サービスの利用を促進する

### (1) 情報提供の充実

- ① 社協だより「ゆめ」の発行（年12回 全戸配布/再掲）
- ② ホームページによる情報掲載
- ③ シルキーチャンネルの活用
- ④ 地区社協だよりの発行（再掲）
- ⑤ 新聞等報道機関の協力（再掲）
- ⑥ 福祉教材の貸出（再掲）

### (2) サービスの提供

#### ① 日常生活自立支援事業の推進

相談件数	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	合計	
	1454件	679件	2164件	4297件	
本年度契約件数	22名	本年度解約件数	15名	本年度実利用者数	83名
内(生活保護)	4名	内(生活保護)	4名	内(生活保護)	21名
内(下諏訪町)	4名	内(下諏訪町)	3名	内(下諏訪町)	12名
事業開始からの契約件数	207名	事業開始からの解約件数	125名		
専門員の訪問調査回数	延べ270回（対象者54名）				
生活支援員等の利用援助回数	延べ1278回（対象者108名）				

相談件数・契約件数共に年々増加傾向にある。26年度は、精神障がい者の相談件数が大幅に増えた。本事業での対応だけでは解決しないケースも多く、より一層地域包括支援センターを含め、行政や関係機関との連携を図る必要がある。

#### ② 金銭管理、財産保全サービス事業の推進（岡谷市社協単独事業）

契約件数	解約件数	実利用者数
0名	1名	5名

#### ③ 地区福祉ニーズ対応事業（福祉推進員設置事業/再掲）

④ 心配ごと相談事業

定例相談日数 244日 (毎週 月～金曜日) 8:30～17:15																	
相談員 社協心配ごと相談員																	
利用者数 41名 (男性2名・女性39名)																	
取扱件数 82件																	
相談事項	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	合計
	生計	年	職・業・生計	住	家	結	離	医	精	人	財	事	教	福	苦	そ	
取扱件数	0	0	1	4	18	0	0	4	32	0	1	0	1	0	2	19	82
処理状況	解決			1	4	14		3	31				1		1	3	58
	再来				2			1	1							16	20
	民生委員														1		1
	他機関				2						1						3
	その他																

⑤ ふれあいおしゃべり電話 月曜～金曜日 8:30～17:15

⑥ 結婚相談事業

100日開所		毎週火曜日、第1・3土曜日、第2・4木曜日(夜間相談日)				前年比
平均相談数		火曜日	木曜日	土曜日	1日あたり	
内	男性	0.4	0.6	1.0	0.6	0.2名減
	女性	0.2	0.3	0.8	0.4	0.1名減
訳	親族	0.2	0.1	0.4	0.2	0.1名増
合計		0.7	1.1	2.3	1.2	0.2名減
相談者数(来所者)		男性(本人) 60名			計 120名	18名減
		女性(本人) 37名				
		親・親族等 23名				
電話相談		296件				
登録者数(3/31現在)		男性 51名			計 73名	3名増
		女性 22名				
お見合い件数		12件	カップル成立		3組	2組増
ながの結婚マッチングシステム登録者数		男性 3名			システムによるお見合い件数 0件	
		女性 1名				

⑦ ハートリーフ事業

開催日	場所・内容	参加者	カップル成立
平成26年7月26日(土)	鳥かつ・大人の合コン	男性 8名 女性 9名	4組
平成26年9月11日(木)	諏訪湖ハイツ 親どうしのお見合い	男性親 17組 女性親 9組	

開催以来初めて飲酒をメインとした形式を企画。受付、名札を省略し、あいさつや説明等も簡素にし、友達感覚の飲み会と言った形で進化したことで、良い雰囲気の中会話も盛り上がった。カードによるカップリングは、第一印象、最終と2回行い、3組成立し、後日連絡により1組成立した。また2次会にも多くの参加をいただき、その後の発展も期待でき、大成功のイベントとなった。

2回目として、12月13日開催予定で募集を行ったが、参加者が集まらず、中止となってしまった。

また、初めての試みとして、親どおしのお見合いイベントを9月11日に開催した。

(3) サービスの質の向上

- ① 苦情解決の対応
- ② 第三者委員の設置
- ③ 介護事業所別の相談・苦情対応
- ④ 職員の資質向上のための研修会等への参加

### 基本目標 3 住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるようにする

#### (1) 高齢者・障害者在宅サービスの充実

##### ① 生きがいデイサービス事業（市受託事業）

援助員72名(内地区活動援助員66名：今井区11名・間下区17名・岡谷区11名・小尾口区1名・西堀区8名・駒沢区4名・橋原区10名・中村区3名・小口区1名)

名 称	会 場	参加人員	グループ数	延回数
いきいきデイいまい	今井区公会所 今井区民センター 下今井公会所	48名(男10名・女38名)	4グループ	96回
いきいきデイ間下	間下区民センター	34名(男0名・女34名)	4グループ	94回
いきいきデイおかや	岡谷区公会所	31名(男2名・女29名)	2グループ	47回
すこやかデイ下浜	下浜区民センター	8名(男0名・女 8名)	1グループ	24回
いきいきデイ小尾口	小尾口区公民館	9名(男0名・女 9名)	1グループ	24回
いきいきデイ上浜	上浜公民館	19名(男0名・女20名)	2グループ	48回
いきいきデイあらやしき	新屋敷会館	15名(男5名・女10名)	2グループ	48回
いきいきデイおぐち	小口区民センター	18名(男0名・女18名)	2グループ	48回
いきいきデイ小井川	小井川区民会館	45名(男2名・女43名)	4グループ	96回
いきいきデイ西堀	西堀公会所	144名(男40名・女104名)	14グループ	339回
ふれあいプラザみなど	ふれあいプラザみなど	23名(男0名・女23名)	3グループ	72回
いきいきデイつるみね	三沢区コミュニティ施設	17名(男0名・女17名)	2グループ	48回
いきいきデイ新倉	新倉区公会所 夏明公会所	25名(男2名・女23名)	3グループ	72回
いきいきデイ駒沢	駒沢区公民館 荻山会館	17名(男1名・女16名)	2グループ	50回
いきいきデイ鮎沢	鮎沢区公民館	18名(男2名・女16名)	2グループ	50回
いきいきデイ橋原	橋原公会所	18名(男4名・女14名)	2グループ	48回
いきいきデイしばみや	柴宮館 東堀コミュニティ会館	49名(男4名・女45名)	4グループ	96回
いきいきデイ中村	中村区民センター	27名(男0名・女27名)	3グループ	72回
いきいきデイ横川	横川公会堂	29名(男0名・女29名)	3グループ	72回

##### ② 有償在宅福祉サービス（家事援助）事業

サービスの種別	協力会員(延)	利用会員(延)	対応延回数	総 時 間
家事援助サービス	60名	99名	257回	286.5時間

##### ③ 車いす移送車有償運送事業 3台使用 運転者登録 6人 利用者 16人 305回

##### ④ 岡谷市いきいき生活支援サービス事業（ホームヘルプサービス/市受託事業）

ア 介護予防生活支援サービス（未認定対象）

イ 重症化予防生活支援サービス（要支援認定以上対象）

##### ⑤ 安否確認（目くばり・気くばり）事業

##### ⑥ ふれあいの仲間づくり事業

配食等宅配サービス事業 今井・間下・岡谷・下浜・小尾口・新屋敷・小口・西堀・小坂・花岡・三沢・新倉・駒沢・鮎沢・橋原・東堀・中屋・中村・横川
会食会・料理教室 今井・間下・岡谷・下浜・上浜・新屋敷・小口・小井川・西堀・小坂・三沢・駒沢・鮎沢・橋原・東堀・中屋・中村・横川
デイケアサービス事業 今井・下浜・新屋敷・小口・小井川
ふれあいの集い・青少年ふれあい育成事業 今井・上浜・小口・小坂

##### ⑦ ふれあいいきいきサロン事業

実施グループ数	実施延べ回数	参加延人数
11グループ	361回	4,889名

##### ⑧ 友愛訪問

今井・岡谷・下浜・小尾口・上浜・西堀・新倉・駒沢・鮎沢・東堀・中屋・横川
--------------------------------------

##### ⑨ 家庭介護者の集い事業

平成26年4月23日(水)	沼津港買い物ツアー	参加者11名(男性3名・女性8名)
平成27年2月26日(木)	いちご狩りと屋神温泉の旅	参加者 8名(男性2名・女性6名)

広報、新聞記事、民生委員、ケアマネージャーを通じ早めの告知、募集を行い、介護手配ができるようにし、参加者拡大を図った。

- ⑩ 車いす移送車レンタカー事業 3台使用 利用者 16名 175回
- ⑪ 車いす貸出し事業（介護保険適用以外） 個人19名 19台・4団体 12台
- ⑫ 福祉機器リサイクル事業（再掲）

## (2) 介護保険事業・障害福祉サービス事業の充実

### ① 居宅介護支援事業所（介護支援専門員による支援計画策定等）

介護区分	延べ人数	月平均	前年比（月平均）
要介護1・2	1,238名	103名	2名減
要介護3・4・5	565名	47名	5名減
介護支援専門員1人当たり（常勤換算6.4名）		23名	4名減
新規利用者数(26年度中)		40名	44名減

### ② 介護予防支援業務（市受託事業）

介護区分	延べ人数	月平均	前年比（月平均）
要支援1・2	547名	46名	3名増
介護支援専門員1人当たり（常勤換算6.4名）		7.2名	0.2名増
新規利用者数(26年度中)		11名	22名減

全体として利用者数が伸びておらず、収入減となっている。更なる利用者の確保に向けた対策が急務である。

### ③ 特定相談支援事業（障がい福祉サービス等利用計画策定等）

利用者数	計画作成数	継続支援回数
22名	18件	57件

今年度より事業開始。今後利用者増が見込まれるので、体制強化していくことが必要と考えている。

### ④ 二次予防事業 訪問型介護予防（市受託事業）

### ⑤ 訪問介護事業所（ホームヘルプサービス）

#### ア 訪問介護事業

利用者数	延べ人数	月平均	前年比	
要介護1～5	458名	38名	53名増	
新規利用者数(26年度中)		24名	3名増	
サービス区分	延べ派遣回数	月平均	延べ派遣時間	前年比（時間）
身体介護	5,079回	423回	3,267時間	183時間減
身体・生活	2,153回	179回	2,811時間	341時間減
生活援助	4,907回	409回	2,595時間	561時間増
乗降介助	111回	9回	37時間	14時間増
自費利用	544回	19回	456時間	215時間増
合計	12,794回	1,039回	9,166時間	266時間増

#### イ 介護予防訪問介護事業

利用者数	延べ人数	月平均	前年比	
要支援1・2	272名	23名	3名減	
新規利用者数(26年度中)		1名	8名減	
サービス区分	延べ回数	月平均	延べ派遣時間	前年比（時間）
介護予防Ⅰ	479回	40回	509時間	8時間増
介護予防Ⅱ	994回	83回	1,016時間	252時間減
介護予防Ⅲ	350回	29回	378時間	115時間増
合計	1,823回	152回	1,903時間	129時間減

身体介護サービスが減少し、生活援助中心のサービスが増加傾向となり、収入減の要因となっている。

ウ 障害者自立支援給付事業

自立支援給付	利用者数	派遣回数	派遣時間	前年比(時間)
重度訪問介護	1 世帯	70 回	166 時間	2時間減
身体介護	6 世帯	447 回	494 時間	26時間増
家事援助	29 世帯	1,751 回	2,077 時間	35時間増
通院介助(身体介護あり)	1 世帯	45 回	50 時間	6時間増
通院介助(身体介護なし)	0 世帯	10 回	18 時間	16時間減
同行援護(身体介護伴う)	0 世帯	0 回	0 時間	増減無
同行援護(身体介護伴わず)	5 世帯	160 回	320 時間	203時間増
移動支援	利用者数	派遣回数	派遣時間	
	2 世帯	54 回	56 時間	5時間減
ガイドヘルプ事業 ガイドヘルパー8人登録	派遣世帯数	派遣回数	派遣時間	
移動支援	1 世帯	4 回	4 時間	42時間減
重度訪問介護(移動介護のみ)	1 世帯	27 回	36 時間	10時間増
同行援護(身体介護伴う)	0 世帯	0 回	0 時間	3時間減
同行援護(身体介護伴わず)	8 世帯	86 回	266 時間	103時間減

訪問時間は増加傾向となっている。特に視覚障がい者の同行援護サービスが増えている。

エ 実費利用支援サービス事業

(3) 子育て支援サービスの充実

① 産後ママサポート事業(市受託事業)

登録ヘルパー	派遣世帯数	派遣回数	派遣時間
8名	3世帯	32回	55時間

② 育児ファミリーサポートセンター事業(保育/市受託事業)

提供会員	33名	利用会員	541名		
個人	件数	123件	内容	保護者の病気時、残業、研修、習い事等	
	時間	169.5時間			
複数 預かり	件数	174件	延提供会員数	593名	内容
	時間	455時間			

提供会員を対象とした研修会を開催し(6回)、サービスの向上を図った。

- ③ ひとり親家庭福祉事業への助成と援護活動
- ④ 児童遊園地の新設、遊具等の整備助成事業
- ⑤ 親子福祉体験事業(再掲)

(4) 安全・安心な市民生活をサポートするサービスの充実

① 歳末訪問激励事業

② 戦没者慰霊見舞事業 遺族会へ補助 16万円

③ 罹災者に対する見舞事業

市社協見舞金	全焼 3件 60,000円	焼失 6件 60,000円	損壊 1件 10,000円	負傷 1名 2,000円
県共募見舞金	全焼 3件 30,000円	焼失 3件 30,000円	損壊 1件 10,000円	

④ 災害ボランティアの事前登録

⑤ 災害ボランティアコーディネーターの養成

防災とボランティアパークにおいてボランティアコーナー設置と炊き出し

⑥ 安否確認のための情報把握 (災害時要援護者避難支援体制づくりへの協力)

⑦ 支援協力体制の整備

ア 岩手県山田町災害救援ボランティアセンターへ職員派遣

期間	日数	要請機関
8月21日～25日	5	山田町社会福祉協議会
11月21日～27日	7	山田町社会福祉協議会

職員派遣によって被災されて社協とのつながりができたことにより、山田町社協からの直接の要請により職員を派遣し、被災地社協の支援を行った。

イ 神城断層地震災害ボランティアセンターへブロック派遣

期 間	日 数	派遣先
12月1日～7日	7	小谷村災害ボランティアセンター

長野県内社協災害時相互応援協定に基づき、諏訪ブロック社協から白馬村、小谷村両災害ボランティアセンターへ職員派遣を行った。本会からは、小谷村に職員を派遣し、被災地社協の支援を行った。

⑧ 避難所運営の支援

⑨ 要援護者に対する応急活動

⑩ 被災地・被災者支援活動

ア 義援金・ボランティア活動支援金(寄付)

東日本大震災	義援金	3件	170,031円
	支援金	2件	45,410円
白馬村	義援金	1件	68,253円

イ 本会より白馬村、小谷村両災害ボランティアセンターへ活動支援金を送った。

⑪ 災害時ボランティア関係団体の調整

⑫ 県内社協災害時相互応援協定・諏訪ブロック社協における相互応援協定  
諏訪圏青年会議所との災害時協力協定による体制整備

⑬ 生活福祉資金(災害援護資金等)の貸付の周知・活用促進

⑭ ボランティア及び災害活動者遺児育英資金(再掲)

⑮ 交通災害遺児等激励事業

⑯ 生活困窮者サポート事業

ア 貸付に関する相談

相談件数(本人来所、窓口対応)	28件(内貸付 21件)
-----------------	--------------

貸付に関する相談を通して、金銭管理や貸付金等の事業も視野に入れ、関係機関と連携し、相談者の生活の自立を支援する活動に取り組んだ。

イ 食品等の払い出し

お米の支給 5件 計25kg	寄付(受け入れ) 2件	お米 120kg もち米 5kg
----------------	----------------	---------------------

貸付相談者、日常生活自立支援事業利用者、生活困窮世帯への緊急的支援として、貸付と併用して、寄付でいただいたお米を支給した。

⑰ 助け合い資金貸付事業(市社協単独事業)

貸付人員	20名	20件	587,000円
償還取扱件数	22名	65件	516,500円
償還未納金額	25名		645,000円

生活保護受給のつなぎ資金を中心に貸付を行った。滞納者に継続して連絡を取り、相談する中で、小額ずつでも償還するよう促し、滞納額を減らすことができた。

⑱ 生活福祉資金貸付事業(県社協受託事業)

緊急小口資金	1件	96,000円
--------	----	---------

貸付を行うだけでは解決しない問題を抱えているケースが多くなってきており、相談を受ける際、丁寧な聞き取りを行い、行政の生活保護、就労支援等担当と連携し、自立につながるよう努めた。

⑲ 生活改善事業への協力

(5) 健康の保持増進

① 高齢者の社会参加促進事業(再掲)

② 生きがいデイサービス事業(再掲)

③ ふれあいの仲間づくり事業(再掲)

④ ふれあいいいききサロン事業(再掲)

## 基本目標 4 社会福祉協議会の基盤を強化する

### (1) 組織の強化

- ① 社会福祉協議会役職員の研修
- ② 地域福祉活動計画の点検・評価
- ③ 定款の変更・規程の整備  
27年度予定している新規事業に対応するための定款の変更、規程の改正、新たな規程の制定と、事業の現状に即した規程の改正を行った。
- ④ 市社会福祉大会の開催（再掲）
- ⑤ 県社会福祉大会への参加（茅野市/再掲）
- ⑥ 地区社協会長等視察研修 平成26年11月13日・14日 新潟県柏崎市北条地区  
地区社協会長等28名の参加をいただき、柏崎市北条地区コミュニティ振興協議会を視察。防災と福祉を視点とした地域づくりについてのお話を聞き、地区社協の方々へ地域福祉活動の見識を深めていただく研修となった。

### (2) 財源の強化

#### ① 岡谷市社会福祉協議会会費

会費収納説明会の開催	平成26年6月26日(木)	市役所 9階	区長・地区社協会長等
収納状況			
一般会費(1世帯 1,000円)	9,264件	9,237,500円(前年度 9,224件 9,181,200円)	
賛助会費(1口2,000円以上)	4,808件	10,004,500円(前年度 5,007件 10,397,500円)	
合計	14,072件	19,242,000円(前年度 14,231件 19,578,700円)	

#### ② 赤い羽根共同募金運動

募金方法	件数	実績額(円)	備考
戸別募金	13,321	13,887,983	
街頭募金	1	20,356	
法人募金	534	2,147,304	事業所大口
学校募金	10	83,864	小学校 5・中学校 2
その他募金	25	1,330,593	
合計	13,891	17,470,100	前年度13,834件 18,006,543円

#### ③ 岡谷市社会福祉協議会福祉基金及び準備基金

福祉基金	300,722,256円	準備基金	10,292,640円
ボランティア及び災害活動者遺児育英資金			9,473,474円

#### ④ 物品寄付の受付 89件

使用済み切手	47件	機能訓練用遊具	1件
書き損じはがき	8件	ミシン	2件
衣料	5件	マッサージ機	3件
おむつ類	4件	鉛筆	4件
タオル類	4件	夏みかん	5件
未使用切手	2件	ぞうきん	1件
米	2件	歯ブラシセット	1件

ご寄付いただいた物品は、必要とする施設や機関、利用者等へ払出し、それぞれ活用してもらった。